

## 英検の申し込みを始めました！

### 今年度の英検は、、

大阪府公立高校入試においては、第2回検定の成績までスコアを提出することができます。ちなみに第2回検定は、中宮中学校会場では、10月6日(土)を予定しています。時間は、受験級によって異なります。基本的に9時から17時の間、いつでも受験できるようにしておいてください。申し込みの締め切りは、9月5日(水)までです。申し込みを希望する人は、今日、配布する受験案内の『学校・団体内専用』申込用紙に学年・クラス・出席番号、名前、郵便番号、住所、電話番号、生年月日、受験級を記入の上、受験料を添えて提出してください。なお、受験者が10名に満たない場合には、中宮中学校会場では行えませんので、9月5日中に受験料を返却します。申し込みに関する問い合わせは、各学年の英語の先生に尋ねてください。

世界レベルの英語力を



## 英語の「話すこと」の評価

中宮中学校のCan-Doリストをホームページなどで、公開していますが、あまり読んでいない人がいないようですね。情報をしっかりとキャッチしましょう。

さて、今日は「話すこと」の目標と評価について話をしておきましょう。各学年の目標は右の表のとおりです。まず、昨年から話すことにおいて2つの観点がありました。

1つ目は“Production”です。日本語にすると、“生産や産出”という意味ですが、主に『スピーチ』の評価になります。

2つ目は、“Interaction”です。これは、“やりとり”と訳せるでしょうか。一方通行の『スピーチ』に対して、『やりとり』は、聞いて、答えるという即興性が必要になります。

さて、2つの違いとポイントを見てみましょう。

3年生には、英語Bの授業で、お話ししましたが、スピーチは、準備ができるものです。ポイントは、2つ。1つ目は、「人前での練習を重ねること」です。人に伝えるのがスピーチですから、友だち何人かにみてもらうのがポイントです。もう1つは、「人からのフィードバックをもらうこと」です。3年生のスピーチ発表の前には、放課後に練習できる期間を2週間設けましたが、アンディーや英語の先生に、原稿作りのアドバイスや発音、イントネーション、英語らしい読み方をアドバイスしてもらいに来た人はほとんどいませんでした。

3年生の英語Bの発表では、とても良い原稿で発表をしてくれた人がたくさんいましたが、発音やイントネーションの点でもう一歩という人もたくさんいました。スピーチは準備で決まるといっても過言ではないでしょう。

【中宮中学校 Can-Do リストより】

	1年生	2年生	3年生
話すこと 【Production】	①簡単な語彙や表現を用いて、日常の出来事や、思い出について、30words程度の原稿を60wpm以上のスピードで発表することができる。 (Presentation など)	①それぞれの題材に沿った40words程度の原稿を意味のまとまりに気をつけながら、70wpm以上のスピードで発表することができる。 (Presentation など)	①学校生活や地域社会をテーマにした内容について、しっかり準備をしてまとまりのある英文をスピーチし、それに対して簡単な問答ができる。 (Presentation など)
話すこと 【Interaction】	①簡単な語彙や表現を用いて、自分自身の気持ちや感情を相手に伝えることができる。 【例： How are you? I'm fine.】 (Unit1,3,4,5,6,7,8,11 など)	①さまざまな話題について、聞き手に分かりやすく情報を伝えることができる。 ②身近な話題について問答できる。 (各 Unit の Activity2, Daily Scene など)	①学校生活や地域社会をテーマにした内容で、ペアで1分間、あいづちをうったり、適切な応答をしたりして会話ができる。 ②さまざまな話題について、聞き手の様子に合わせて表現を工夫できる。 (各 Unit の Activity2, Daily Scene など)